

ROTARY SANJO SOUTH

国際ロータリー会長：グレンE. エステス（米国）

第2560地区ガバナー：横山 芳 郎（新潟）

第四分区分会アシスタントガバナー：細井 増 雄（三条）

会長 石山莊一 幹事 佐々木 常行 SAA 丸山征夫

三条南ロータリークラブ事務局 三条市旭町2-5-10（三条信用金庫本店内）

TEL: 35-3477 FAX: 32-7095 e-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

2004年8月9日 第1,711回

本年度 第4回例会



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

ロータリーを祝おう

100年の歩み

2004-2005

【出席率】 会員 64 名中 47 名

【先々週出席率】 87.3%

【先週のメイクアップ】

8 / 3 三条北RCへ 永桶栄資君

【会長挨拶】 石山 莊一 会長

713 水害が起きて早いもので今日で 26 日が過ぎようとしています、最近被害地域の道路両側に置かれた残骸はある程度整理され、きれいになったように感じられます。被害に遭われた方には大変な日々が続きますが、暑さに負けず体に気をつけて早く元の状態になることをお祈り申し上げます。去る 8 月 4 日に、佐冷木幹事と私と 2 人で被災されたメンバーの会社及び自宅を訪問しお見舞いをお届けして参りましたが、事務所、自宅とも、思った以上に被害が大きいのに驚いております。被災されたメンバーの方々にはあまり無理をされず、落ち着かれてから出席されることをお願い申し上げます。はなはだ簡単ですが、本日の挨拶とさせていただきます。

表 彰

三条ローターアクトクラブ
会長 小林克則さん

米山功労クラブ（16回目）として感謝状が贈られました。



幹事報告

佐々木常行幹事

○横山ガバナー事務所より

2004～05 年度第 2560 地区地区大会のご案内

と き：10 月 16 日(土)・17 日(日)

ところ：第一日目 ホテルイタリア軒

第二日目 ホテル新潟

プログラム

(第一日目) 本会議：R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

記念講演：新潟大学人文学部 助教授 高橋秀樹氏

「古代文明の遺産が語りかけるもの」

(第二日目) 本会議：ロータリーの夕べ

記念講演：新潟大学医学部長 山本正治氏

「新潟に多い病気」

ロータリーの夕べ：「みんなで歌おうロータリーソング」

by ボニージャックス

※ 理事役員、新会員に出席依頼

ニコニコBOX

～8月9日¥25,000 今年度累計¥114,860～

石 山 君 今日卓話をして下さる二人の方、住谷さん、鈴木武さん、有難うございます。

佐々木君 住谷さん、鈴木武さん、卓話ご苦労様です

佐藤(栄)君 7.13 水害の後は猛暑と異常が続い

ております。お体大切に。

滝 口 君 欠席が続いてすみません。渡辺先生はなんとか当選させていただいたし、水害の方も会社は10日程休んで正常になったし、不幸中の幸いと云えるか。

鈴木(幸)君 7.13 水害で会長、幹事並びに会員の皆様より多数お見舞いをいただき大変感謝しております。有難うございました。

蒔 澤 君 7.13 水害に関して大勢の皆様から激励のお言葉やお見舞金をいただき有難うございました。一生懸命頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

星 野 君 石山会長、佐々木幹事、先日はお見舞いお届けいただき誠に有難うございました。

田中(久)君 過日は、会長さんより水害見舞いを頂き大変有難うございました。

安 達 君 7.13 水害で会長幹事より早速お見舞いを頂き大変有難うございました。

丸 田 君 この度の 7.13 水害にはクラブから過分なるお見舞いを頂き有難うございました。

荒 澤 君 8 日でボランティアセンターを閉め

ました。延べ 25000 人のボランティアを迎えることが出来ました。引き続き 8 月 28 日、29 日の物品提供をお願い致します。

田中(正)君 水害の復興に頑張っておられる方々、本当にご苦労様です。

吉 井 君 水害後初めての例会出席となります。被災された会員各位に謹んでお見舞い申し上げます

鈴木(圀)君 卓話の住谷さん、鈴木武さん、水害のお話ご苦労様です。

西 巻 君 暑い日が続いております。卓話ご苦労様です。

相田君、岡村君、坂本君、佐藤(嘉)君、田中く悌)君 B O X 協力致します。

丸山(徹)君 久しぶりに B O X 担当致しました。ご協力有難うございました。

卓 話

「7. 13 水害に思う」

住谷哲雄会員

私の自宅は南新保の三条高校生徒玄関前に、また、営業倉庫は三条駅通りの北新保に在り、今回はその両方がたつぷりと 2 日間泥につかり本当に大変な体験をさせられました。

自宅は 30 年程前の水害にも遭い、その時は、その当時の住いの高さで床上すれすれ、道路より 40~50cm 位であつたろうと思います。それでその 4~5 年後に現在の家を新築して、水害に備えて土台を 90cm 上げたのですが、今回の水害には何の役にも立ちませんでした。

実は、7 月 12 日~14 日の 3 日間、フランスベッド主催の第 19 回ユーザー展を地場産センターで開催しており、12 日夜と 13 日、14 日の二日間は展示会場に居り、まさかこんな大水害になるとは夢にも思いませんでしたので、水害対策なるものは何も出来ず、倉庫も自宅もそっくり水害に遭った次第です。今にして思えば 13 日の朝 7 時 30 分頃、店に向かおうと自宅を出た時には既に三高脇の幅 1.2m 位の用水路は溢れ、道路に 5~6cm 位の水が出ていたのです。その時は大変な雨降りになったなあと思った位だったのですが 9 時 30 分の朝礼時には、「雨に負けず頑張ろう」と声を掛け合い、お客様に展示会場に足を運んでもらおうと電話作戦を始めたのですが、雨は降り止まず、お客様も「雨がやんだら出かける」の返事、一日中客待ちの状態でした。

私共夫婦と、息子夫婦の 4 人と社員全員で会場の地場産センターに出向いておりましたが、四日町小 4 年の孫は学校が休校となり自宅に帰っていたところを、息子が幸いにも倉庫に商品を取りに行った折に自宅に立ち寄りその子を連れて展示会場に来ましたので、幼い孫が一人取り残されるといふ危険な目に遭うことはなかったのです。中 1 と中 3 の孫は第一中学校で、嫁が 3 時頃に迎えに



行ったのですが、学校に着いてまもなく大水が押し寄せ、その晩は親子3人学校で一晩を過ごした訳です。車も動かなくなり、14日の午後水の中を歩いて帰って来たという状況でした。13日第一中学で過ごした親子は約700人、その日の夕食は夜中の12過ぎにおにぎり1個だけだったそうです。

15日より大勢の方々よりお手伝いいただいて営業倉庫と自宅の後片付けをして居りますが、仕事も生活も元の状態に戻るのには9月いっぱいかかるのではないかと考えています。被害状況は営業規模等の問題で色々と思いますが、7月度の売上は昨対40%と大変厳しく、これから復旧費用も大きく掛かってきますので、相当の被害額になると現状を見つめています。災害復旧には国等の支援策もありますが、今回つくづく考えさせられたことは、やはり保険等を検討し、自分自身で備え、守ってゆくことが大切なのだと痛感させられた次第です。

鈴木武 会員

7月13日早朝6時頃、雨が気になり四日町一帯と五十嵐川土手を見廻った時には、これ程大変な事になるとは思ってもみなく、特に五十嵐川など水位は消防道路がまだ浸っていない状態で、こんな状況は今までも何度も経験していることでした。

午前10時頃までは四日町の倉庫が心配でそちらにつきっきりで居たところ、二之町宅裏の駐車場が水に浸り始めたという連絡で二之町へ戻り車の移動をする事で精一杯。約30台の車の移動を終えて、午後2時過ぎ駐車場の水が引き始め（その時が五十嵐川の諏訪新田の土手切れと思う）、少々ほっとはしていたのですが、まさか嵐南一帯があれ程の水害になろうとは…。

私共の会社の倉庫は四日町と西四日町の2ヶ所、倉庫合わせて400坪近くが1.5～1.8m浸水し、自宅は1m位の浸水でした。その日の午前中は入荷が多く、午前中に入荷し、午後水に流された材木も少なくありません。昔から材木屋の水害対策があり、水が出始めると縄で杉角を結び帯状に材木置き場を囲む。差し詰め重由流出事故時のオイル・フェンスの様な格好だろうと思います。今ではその様なことをする人は皆無ではないでしょうか。

最後に思うことは、上流の二つのダムは水害対策には何の役にも立たなかったということです。



四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実か どうか

III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か

IV みんなのためになるか どうか